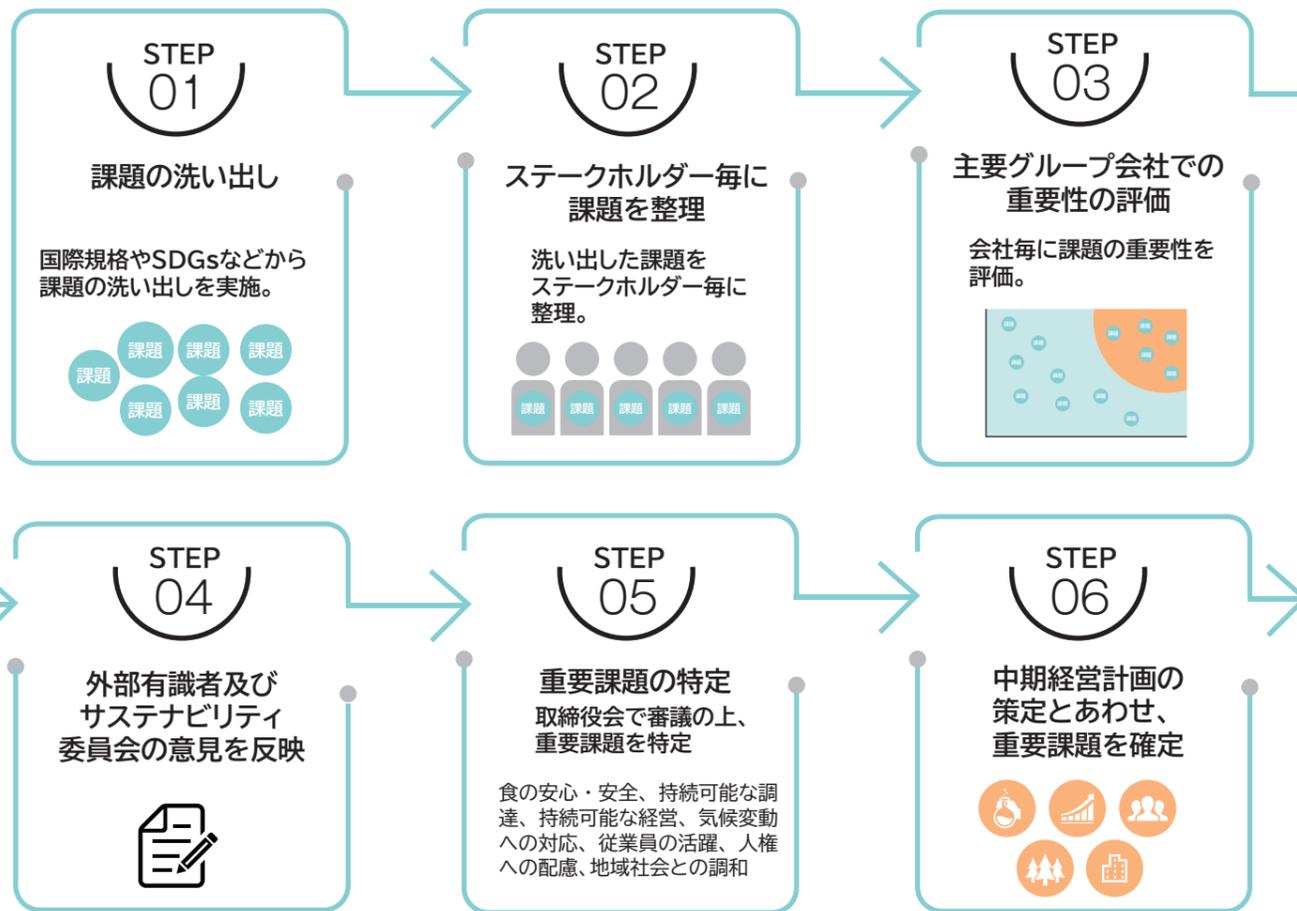


2 サステナビリティ経営の推進 サステナビリティ方針の具体化

当社グループは、食品とそれに関連するサービスを提供する企業グループとしての責任を自覚し、食を通して「社員・従業員」「お客様」「取引先様」「株主様」そして「地域社会」の5人のステークホルダーを豊かにする企業活動を実践し、“持続可能な社会の実現”と“事業の安定的な成長”を目指すためサステナビリティ方針を掲げています。サステナビリティ方針の具体化を目指し、長期的な目標として次の内容を掲げその達成を目指します。

サステナビリティ方針に関連する重要課題の特定プロセス



サステナビリティ推進の歩み



重要課題(マテリアリティ)

トーホーグループでは、サステナビリティ方針のもとサステナビリティ経営を推進するため、「美味しく、安心・安全な食の提供」「持続可能な経営の継続」「未来へ繋げるための環境対策の取り組み」「個性の尊重と能力を發揮できる組織の構築」「地域社会発展への貢献」の5つの重要課題(マテリアリティ)を掲げ、重要テーマに取り組んでいます。

サステナビリティ方針/重要課題	主な取り組み内容
美味しく、安心・安全な食の提供	- グループに起因する食品事故ゼロ 食品を扱う企業グループの基本である、美味しく、安心・安全な食品をお届けすることを更に強化していきます。 - サステナブルフード開発強化 持続可能な社会の実現に貢献すべく、サステナブルフードの取り扱いに力を入れていきます。
持続可能な経営の継続	- ガバナンスの更なる強化 当社グループは「企業は天下の公器である」という考えのもと、コーポレート・ガバナンス体制の更なる充実を図ってまいります。
未来へ繋げるための環境対策の取り組み	- 温室効果ガスの削減 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガス排出量を2030年度までに基準年2013年度比で46%削減を目指します。
個性の尊重と能力を發揮できる組織の構築	- 働きがいや誇りの醸成 従業員が健康で活気に満ち、最高のパフォーマンスを持続できる労働環境の整備に取り組む「健康経営」の推進を最重要テーマと位置づけ、人材育成に取り組んでいます。 - 従業員エンゲージメント向上
地域社会発展への貢献	- 食を通して豊かな地域づくりに貢献する活動の継続 当社グループは地域社会と共に成長していきたいと考え、食を通して豊かな地域づくりに貢献する活動を継続していきます。また、取扱商品を提供してくれる産地や生産者も意識し、共に成長できる活動を強化していきます。

推進体制

トーホーグループでは、経営理念である「食を通して社会に貢献する」ことを継続実施し、より一層社会から信頼され、必要とされる企業グループを目指し、中長期的な企業価値の向上につなげていくことを目的に、「サステナビリティ委員会」を設置しています。サステナビリティ委員会は代表取締役社長を委員長とし、取締役・執行役員及び常勤監査役を委員として構成しています。サステナビリティ方針に基づいた経営を実践するための方策や重要課題の特定、取り組みの推進やモニタリングを行い、定期的に取り締りに報告・提言を行っています。

サステナビリティ推進体制

